

# 免税を手書きでされていた方に朗報!!

## eあっと免税 導入の手引き

とにかく安いWindows 自社送信！ お使いのパソコンで免税電子化

免税電子化システム  Japan. Tax-free Shop

eあっと免税<sup>®</sup>  
いうまに

月額 980円 (税抜)



[自社送信で申請](#)

[ネット回線接続](#)

[Win10PC 用意](#)

休眠プランキャンペーン実施中！

2021年10月～2022年3月31日迄

今、ご契約いただくと  
eあっと免税 Windows版・自社送信  
980円プラン【休眠プラン付】なんと0円！

[休眠プランとは](#)

### ① 店舗でご準備いただくもの

① Windows10 PCの準備



② インターネット回線



③ eあっと免税の[\[ダウンロード\]](#)と[\[お申込み\]](#)



### ② 所轄税務署へ免税に関する手続きを申請

- ① 免税店の登録  
(既に免税店の方は不要)
- ② 免税電子化の届出  
(自社送信を選択) ⇒ [送信方法について](#)
- ③ 約1ヶ月後に販売場識別符号の通知を受領

!!**ご注意!**!!  
所轄税務署から販売場識別符号の通知は、申請から時間がかかります。  
1ヶ月程度の余裕をみた申請をしましょう。

[所轄税務署への免税電子化申込書はこちら](#)

◆ [所轄税務署の所在地を知りたい方](#) 

◆ [法人番号を知りたい方](#) 

### ③ 免税電子化の設定

① [国税庁認証局よりクライアント証明書を取得](#)



② [クライアント証明書インストール](#)



③ [eあっと免税の設定](#)



データ保存は、Windows PC端末でデータ保管

その他、① 便利なパスポートリーダー ② 必要なハード機器とアプリがすべて揃ったレンタルプランがございます。

詳しくは、各項目リンクをクリックすると、関連ホームページが開きます。

## ⇒送信方法について

国税庁へ免税販売データを送るには、以下の2種類の方式があります

### ① 自社送信

月額 ¥980プラン はこちらの送信方法です。

1. 各店舗ごとの免税電子化申請を所轄の税務署に届け出
2. 各税務署から販売場識別符号を各店舗分、取得。
3. 直接、国税庁サーバーに免税データを送信
4. 7年2か月間の保管義務は自社で負う
5. クラウド分析無し
6. クライアント証明書のインストール3年ごとの更新処理が必要。

個人店に  
おすすめ！



クラウド料金がかからない！とにかく安い Windows 自社送信

### ② 他社送信 (承認送信事業者送信)

1. 各店舗ごとの免税電子化申請を所轄の税務署に届け出
2. 各税務署から販売場識別符号を各店舗分、取得。
3. ビジCOMのクラウドサーバーに免税データを送信、国税庁に転送
4. ビジCOMのクラウドにて7年間保管サービス提供
5. クラウド分析あり
6. クライアント証明書の設定と更新が不要

チェーン店に  
おすすめ！



\*手入力プランの場合

## ⇒休眠プランとは

免税店はやめたくない！

だけど、免税電子化の準備はしておきたい店舗様に休眠プラン

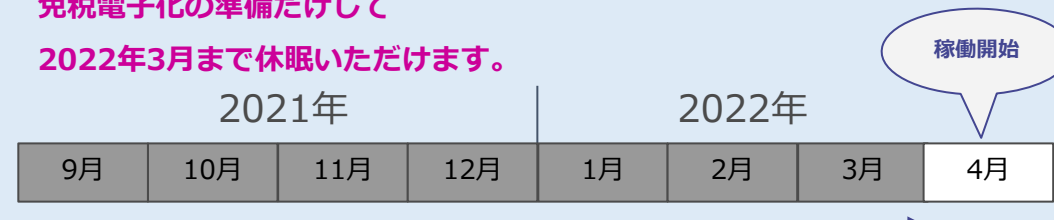
海外旅行客が来ないのに、免税電子化でシステム費用がかかるのは、免税店にとって苦しい状況です。

ビジCOMは、免税店はやめたくない！けど、免税電子化の準備はしておきたいという店舗様に2022年3月まで休眠プランをご用意しました。

休眠期間中に免税販売をする際は、課金開始でご利用開始いただけます。

免税電子化の準備だけして

2022年3月まで休眠いただけます。



休眠中は 料金がかかりません。  
月額980円→0円！！

## ⇒レンタルプランとは



アプリ、ハード保守付きですぐにスタートできる  
「eあっと免税」レンタルセット

※インターネット回線はご利用店舗でご用意ください。

### ■レンタルセットの内容

免税アプリ	Windows PC	電話サポート	ハード保守
パスポートリーダー	承認送信事業者送信	クラウドデータ保存	